

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 031	提案機関名 神奈川県園芸協会
要望問題名 難発根性樹種の接ぎ木増殖法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、利用の増加しているオリーブやユーカリは、種、品種によっては挿し木増殖が困難である。これらについては貴センターでも発根、成苗生率向上のための試験を実施しているが、特に難発根のユーカリについては、並行して接ぎ木増殖の検討をお願いしたい。 ユーカリ類は、現状では、主に種子から実生を育成して種苗生産を行っているが、苗の形状にばらつきがあったり、有望な実生個体が出現しても有効な栄養繁殖法が確立されていない、などの問題があるため、接ぎ木の時期や方法、台木の種類等を検討して、代表的な種について接ぎ木増殖法を確立していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施    ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ユーカリ類は実生繁殖による種苗生産が行われ、種子の入手は輸入に依存し、安定した品質の種子を入手することが困難になっているのが現状です。接ぎ木を行う場合、台木も実生繁殖で増殖するため、安定した量の種子の確保が必要です。当所では現在ユーカリの挿し木増殖について検討をしております。挿し木増殖の試験結果と種子の入手についての状況を踏まえ、接ぎ木試験の実施について検討します。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			